

**平成30年度（上期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 健康福祉 部 地域福祉 室 障害福祉 課

1. 基本情報

802

施設名	伊丹市立障害者福祉センター		
施設の設置目的	障がいのある市民の自立と社会参加の促進ならびに地域における交流の推進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 支え合いを基調とした地域福祉 主要施策： 当たり前の暮らしを支える障がい者福祉		
指定管理者の名称	社会福祉法人 伊丹市社会福祉協議会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市広畑3-1		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	利用人数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の利用者数	
	今年度の目標値	50,000	上期の実績値 31,005

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30(上期)	H30(通期)
	来館者数(人)	44,997	-	52,509	57,561	56,194	31,005	
貸し室稼働率(%)	48	-	43	40	37	37		
講座開催回数(回)	424	-	392	367	384	200		
講座参加者数(人)	4,488	-	4,375	4,218	4,696	2,281		

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

区分		平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)計画	平成30年度(2018)実績(上期)	
収入	使用料収入	0	0	0	0	
	事業収入	483	430	420	206	
	その他	0	0	0	0	
	指定管理委託料	62,818	57,650	59,873	29,937	
	①合計	63,301	58,080	60,293	30,143	
支出	維持管理	光熱水費	10,808	7,866	8,376	2,369
		清掃等委託料	14,763	14,677	15,950	5,958
		土地建物賃料	907	252	1,160	63
		修繕料	2,419	1,546	419	40
	運営	人件費	25,835	23,895	27,342	11,959
		事業等経費	6,586	5,532	5,866	1,858
		その他	1,125	1,155	1,180	523
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	62,443	54,923	60,293	22,770		
純収支(①-②)		858	3,157	0	7,373	

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H25	H26	H27	H28	H29	H30(上期)
	市の収入	1,017	-	827	1,579	1,039	526
(内、使用料収入)	611	-	447	1,008	974	515	
市の支出	68,996	-	75,513	66,254	57,650	29,986	
(内、指定管理委託料)	68,914	-	74,867	62,818	57,650	29,937	
実質経費(歳出-歳入)	67,979	-	74,686	64,675	56,611	29,460	

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	施設内外の清掃は毎日行い、休館日に定期清掃を実施。市との協議もその都度行っている。	B	施設内は常に清潔に保たれている。修繕についても、市への連絡、報告の上、必要な修繕が適切に実施されている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	C	防火管理者を配置している。適宜必要な研修に参加している。	C	産休で欠員が出ているが、補充ができていない。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	消防自主訓練を実施。職員緊急連絡網作成。	B	緊急連絡体制は整っており、避難訓練も実施された。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	利用者ニーズを可能な限り反映し、新たな事業の展開も実施している。	B	センター利用者等から構成する運営委員会を開催し、利用者の声を運営に反映している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	計画実施に向け取り組んでいる。	B	研修・教室・交流啓発等計画的に実施している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	申請書類等は適切に保管し、情報提供を行っている。	B	申請書類等は適切に管理されている。機関誌も定期発行されており、情報提供が行われている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切に行った。	B	適切に行われている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	概ね適正に施設の管理運営がなされている。各種交流・啓発事業、イベント、カルチャー教室等幅広く事業展開しており、参加者の方々から好評を得ている。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成30年 9月 4日～平成30年 9月18日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	<ul style="list-style-type: none"> ・設置面で視覚障害者の対応が遅れているように思います ・2階フリースペースの使用について人がいっぱい使えない。 ・機関紙「テサダ」への利用者投稿コーナーを作してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> →視覚障がい者歩行誘導ソフトマットの設置を順次進めています →1、3階の休憩スペースが利用しやすくなるよう机、椅子の設置を検討しています →情報発信の手段として身近なより良い紙面になるよう検討していきたいと思ひます
回答者数		
60		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置